

西鉄連続立体交差事業

8月28日(日) 西鉄天神大牟田線 (雑餉隈駅付近〜下大利駅付近) が
高架に切り替わります

福岡県、福岡市、西日本鉄道(株)が天神大牟田線の高架事業を進めていますが、いよいよ8月28日(日)に鉄道が高架の上へと切り替わります。

雑餉隈駅付近から下大利駅付近までの高架の区間約5・2kmで、踏切が無くなります。



高架に切り替わった後も、線路・仮駅舎の撤去、高架柱の連結工事および高架駅舎の完成に向けた整備など、工事が継続します。

高架後の踏切の通行

① 遮断機・警報機

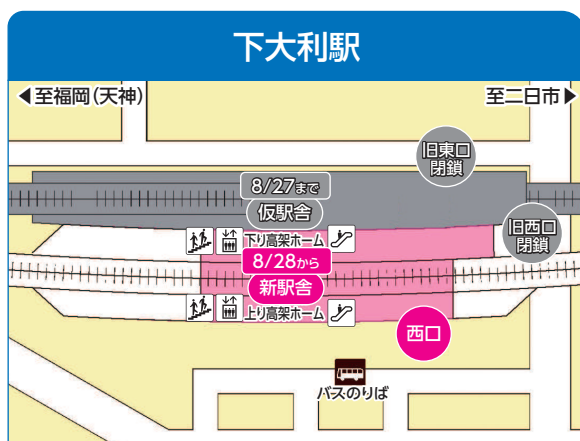
遮断機は高架後、開いたままになり、一時停止をする必要はありませんが、踏切は段差などがありますので、注意して通行してください。



高架後の駅の利用

下大利駅

8月28日(日)高架切替と同時に、新しい駅舎の運用が開始されます。駅への出入口は、仮駅舎の解体工事などの影響により、当面の間、西口のみになります。



白木原駅・春日原駅

8月28日(日)以降の改札口・出入口は現状と変わりません。改札口からホームまでの所要時間が長くなりますので、時間に余裕を持って利用してください。